

<研究課題名>

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が介入した身体拘束率低減の効果  
～異なる領域の認定看護師による協働～

<研究の目的>

本研究は、急性期脳卒中病棟において、専門性の異なる認定看護師が協働することにより、身体拘束の低減および日常生活動作（ADL）の維持に与える影響を明らかにすることを目的としています。

<研究の対象者>

2025年4月1日から2026年3月31日までに、旭川赤十字病院6階きた病棟に入院された18歳以上の患者6,548名を対象とします。

<研究方法>

診療録および病棟管理データを用いて、身体拘束率、ADL低下割合、安全用具の使用状況などを解析します。

なお、本研究は通常の診療・看護の中で得られた情報を用いるものであり、新たな検査や治療を追加で行うものではありません。

<使用する情報>

- ・年齢（18歳以上かどうかの確認、および65歳以上区分）
- ・入院期間
- ・身体拘束の有無および実施日数
- ・身体拘束の種類
- ・ADLに関する評価データ（入院時および退院時）
- ・安全用具の使用状況（体動センサー、離床センサー等）
- ・診療科および病棟情報

<個人情報の取り扱い>

本研究では、個人情報の保護に十分配慮します。

収集したデータは、個人が特定できないように加工（匿名化）し、研究責任者の管理のもと、パスワードで保護された電子媒体に保存します。研究担当者以外がアクセスできないよう厳重に管理します。

また、対応表（匿名化前の情報と照合するための表）は適切に管理し、研究終了後は速やかに破棄します。

<研究への参加について>

本研究では、既存の診療情報を用いた後ろ向き観察研究であり、患者さんへの侵襲や介入はありません。そのため、個別に同意（インフォームド・コンセント）はいただいております。

なお、本研究への参加は任意です。本研究に参加されない場合でも、診療上の不利益を受けることは一切ありません。

<研究への不参加の申し出（オプトアウト）>

ご自身の情報が本研究に使用されることを希望されない場合は、下記の連絡先までご連絡ください。

お申し出いただいた場合には、該当するデータを研究対象から除外いたします。

<研究責任者・担当者>

責任者：6階きた病棟 看護師長 渡邊 昌子

担当者：4階きた病棟 看護係長 鈴木 裕也

6階きた病棟 看護師 清水 力也

<問い合わせ先>

〒070-8530 旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 6階きた病棟 清水 力也

TEL：0166-22-8111

FAX：0166-24-4648